

## 国指定重要文化財 旧ハンター住宅

旧ハンター住宅は、もと神戸市中央区北野町3丁目にあった建物を昭和38年に現在地に移築したもので、現存する神戸の異人館の中では最大の規模のもの1つです。

最初に作られたのがいつかは、はっきりとわかっていませんが、明治22年頃ドイツ人のA. グレッピー氏が英国人の技師に依頼して作ったものといわれています。その後、英国人のE. H. ハンター氏が、この建物を買い取り、改造して現在にみる建造物に仕上げたものです。

基礎は石造、外壁はモルタル櫛目引きで、南面と東面にめぐらされた重層のコロネード（列柱式）ベランダ、その張り出し部の上には三角形のペジメント（切妻のこと）があり、棟飾りや唐草模様の装飾がついています。

ベランダは、はじめ開放されていましたが、日本の風土に適さないために、美しくデザインされた窓がはめこまれました。

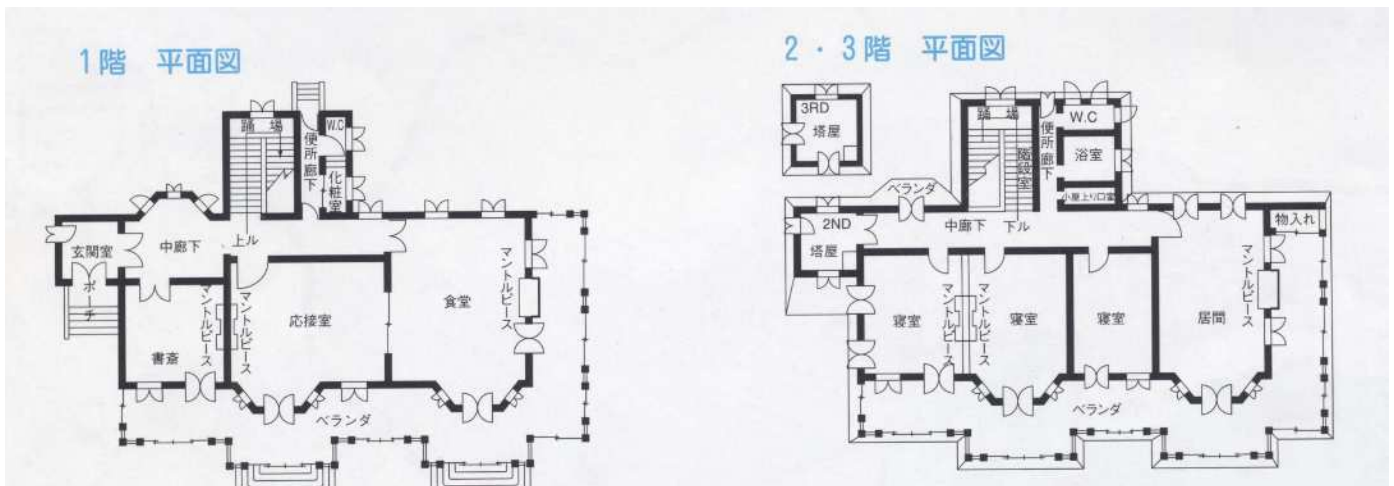
室内は、1階に玄関ホール、書斎、食堂、応接室などがあり、各出口の上にはブローケン・ペジメントと呼ばれる額縁、大理石のマントル・ピース、チークの床材、ブロンズのシャンデリアなど、当時の豪華な面影をしのばせます。また階段の踊り場のバランス窓には、英国から取り寄せた美しい色模様のステンドグラスが使われています。



旧ハンター住宅は、当時の富裕な外国人の生活の一端がうかがわれる神戸の代表的な異人館で、緑の山々をバックに洋風の庭園とよくマッチし、細部にまで神経のゆき届いた意匠とあいまって、この時代の異人館の最もすぐれたものといえます。

地震でれんが造の煙突2本のうち1本が折れ、室内に落下したため、東広縁部が全体に崩壊するなど大きな被害を受けました。東広縁部を一旦解体し、補修して組み直し、煙突の復旧、内壁の塗りかえ、建具の補修を行いました。

また、平成23年3月に外壁の塗装修理を行いました。



**建築主** エドワード・ハズレット・ハンター  
**所在地** 神戸市灘区青谷町1丁目1番4号 (王子動物園内)  
**構造規模** 木骨れんが造2階建1部3階塔屋付、外壁モルタル櫛目引、寄棟石綿スレート葺  
 1階 263.749m<sup>2</sup>  
 2階 273.499m<sup>2</sup>  
 3階 (塔屋) 9.023m<sup>2</sup>  
 計 546.271m<sup>2</sup>  
**建築年代** (創建) 明治22年頃  
 神戸市中央区北野町元トーア・ホテル跡  
 (移築・改造) 明治40年  
 神戸市中央区北野町3丁目130番地  
**所有者** 神戸市  
**指定年月日** 昭和41年6月11日



**神戸市文化スポーツ局文化財課**  
 神戸市中央区加納町6丁目5番1号  
 078-322-5798